

大学受験科のしおり

はじめに

コンサルタント家庭教育研究所に設置され、十五年の長きにわたり大学受験生を受け入れてきた大学受験科の後を引き継ぐ形で、令和八年より、川端英語塾内に大学受験科を移行設置することとなった。小規模ではあるが、大手の予備校にはない個別指導を中心とした指導形態をとる。文系大学を受験する生徒の進路実現を目指し、既卒生の受け皿として貢献できるよう努力する決意である。

大学受験科の特色

①進学実績を積み上げています

開講以来十年以上にわたり、大学受験科は進学実績を確実に積み上げてきました。下記に示す大学以外にも多くの大学への合格を勝ち取っています。大手予備校のような規模はありませんが、生徒一人一人に合わせたマンツーマン指導で合格に徹底的にこだわり実績を出しています。やる気さえあれば合格は目の前です。

合格実績(令和七年までの累計)

＜国立大学＞ 東京大学(理科一類) 京都大学(理学部) 大阪市立大学 筑波大学 神戸大学(工学部) 東京都立大学・宇宙航空 東京学芸大学(教育学部) 岡山大学(医学部医学科) 岡山大学(人文学部) 岡山大学(工学部 2名) 岡山大学・医学部・放射線学科 鳥取大(医学部・地域枠・推薦 2名) 徳島大(医学部・推薦) 鳥取大(医学部・保健学科・推薦) 島根大学(教育学部) 愛媛大学(法文学部) 島根県立大学(総合政策学部) 山口大学(教育学部) 広島市立大学 高知大学(地域協同学部) 鳥取大学(地域・国際学部) 鳥取大学(機械物理学部) 鳥取環境大学(環境 B) 三条市立大学(工学部) 高知工科大学(環境理工学部) 県立広島大学(地域資源学部) 県立広島大学(保健福祉学部) 千葉大学(法政経学部) 熊本大学(薬学部) 奈良県立医科大学(医学部)

＜私立大学＞ 明治大学・理工 早稲田大(スポーツ) 同志社大(スポーツ) 創価大(看護学部) 関東学院大 関西学院大(栄養学部) 岡山理大(理学部) 大阪工大(工学部) 日本社会事業大 美作大学(生活科学) 松山大学 川崎医療福祉大学 関西大学 桃山学院大学(法学部) 藤田医科大学(医学部医学科) 藤田医科大学(医療検査) 就実大学(日本文学) 東海大学(農学部) 上智大学(ロシア語) 法政大学(文学部) 南山大学(外国語) 武庫川女子大学(社会福祉) 立命館大学(産業社会学部)

②新課程に対応した学習環境の提供

国公立前後期二次試験、私大の個別試験、推薦・総合型選抜の小論文・面接など、大学受験に必要な学びを、生徒の受験志望に合わせて提供します。

③自分のペースで無理なく勉強できる

生徒により、成績を伸ばすために必要な方法も違います。少人数指導のメリットを生かして一人一人の生徒に向き合い、理解しているかどうかを丁寧に確認しながら授業を行っていきます。また全統マーク模試に加え、一か月に1～2回の月例模試を入試本番の日程に合わせて行っています。模試の成績はフィードバックされ、普段の授業に生かされます。

基礎力に自信がない生徒さんでも安心してください。少人数指導ですので、他の生徒さんの進度を気にすることなく、マンツーマンで基礎授業を受けながら基礎固めをすることができます。もちろん勉強は大変ですが、問題が解けるようになり、成績が上がっていく実感を感じていただきたいと思います。

④一人ブース、腰を据えて学習に励むことができます

大学受験科では一人一つの学習スペースが与えられます。共有スペースではなく、個別の学習環境があることで腰を据えて学ぶことができます。毎週月曜～金曜の午前11時から夜10時まで学習室を利用できます。勉強漬けの毎日を送ることができます。(下はイメージ図)



⑤テキスト・模試などの追加料金は一切かかりません

大学受験科の学費は明朗会計。パンフレットに記載した学費以外は一切必要ありません。一見安く見えても、テキスト代、施設利用料、模試代金、講習代金など様々な追加徴収で学費が高額になる予備校もたくさんありますので、見た目の料金に惑わされずに予備校選びをしてください。明朗会計の大学受験科は学費も一般の予備校に比べて安く、追加料金は一切ありません。安心して選んでください。

受験科生の日

時程	科目	備考
11:00～12:30(1.5時間)	現代文・古典・漢文	授業・演習(出席必須)
12:30～13:00	昼休憩	
13:00～15:00(2.0時間)	英語	授業・演習(出席必須)
15:10～16:10(1.0時間)	地歴公民	授業・演習(出席必須)
16:10～17:00	夕休憩	
17:00～19:00(2.0時間)	添削課題完成・提出	自分の机で課題(必須)
19:00～22:00(3.0時間)	自学	任意で行う

*私大主要3科目(国語・英語・社会)の基礎学習・演習を行う。

*数学・理科が必要な生徒に関しては動画教材を使用。(情報は個別指導可)

*添削課題はその日の授業で出された課題に取り組み、確認を受けることで習得状況を把握するものである。

*土日は原則休日だが、課題は出されるため当然自学が必要である。また模試や特別講義などで土日に出席してもらうこともある。

*毎月学習予定表が配られるため、学習スケジュールの把握に努めること。

授業・月例模試の実施について

- ①授業は、担当者の指示で問題演習後、個別にアドバイス、指導を受ける形式です。
- ②講師と相談の上、自学を増やす、時間割の変更など、ニーズに応じて柔軟に対応します。
- ③「月例模試」を月に1～2回実施します。年間30回以上の入試想定訓練を行います。
- ④課題・模試で弱点、理解不足を洗い出し、本人の復習と講師のアドバイスを受けることで短期間で必要十分な知識の習得を図ります。
- ⑤模試は個人申し込み形式で行い(一斉に会場で行う形式ではありません)、実施中は監督が同席します。模試によってはオンラインによる受験となりますのでご了承ください。

授業費用

計 572,000円(一括の場合)

*教材費・講習費・模試代金などをすべて含む(追加費用なし)。

*費用は基本的に一括払いとする(原則四月末までの納入)。

*分割も可能(二回分割の場合、支払い総額は594,000円となる)また、支払方法は相談に応ずる。学費などを自己で工面するような場合は、月ごと納入も認められる。

年度当初の計画・準備物

授業開始日：4月13日（月）

事前準備：控え室には一人一つの学習スペースが与えられます。必要な参考書や文房具などを持ち出せるように準備しておいてください。

やる気のある方は早めに学習をスタートさせてもかまいません。

大学受験生生活の心得

1 生活全般について

○自分の学習スペースの整理整頓に努めること。模試なども繰り返し学習できる貴重な財産ですので、ファイルなどに綴じて、折に触れて活用すること。

○お互いのプライバシーを尊重しましょう。ここでは学習作業に没頭できるように個別ブースが設置してあります。他の生徒もいますので、お互いに邪魔しないように、音の管理、人付き合いのマナーを徹底してください。全員が目標を達成できるように各人協力しましょう。公私の区別をつけて充実した一年を過ごしてください。

○スマートフォンは禁止しませんが、学習の妨げにならないよう預けることも可能です。退路を断って、進路実現に向けて頑張りましょう。

2 学習全般について

○欠席の際には連絡をお願いします。帰宅時間は自由ですが、最後に出る人は、消灯し、エアコンのスイッチを切ってください。事務室が無人でもエアコンのスイッチは切っておいてください。

○演習をやったら必ず時間をかけて納得がいくまで復習すること。問題をたくさん解くと勉強をした気分になりますが、復習するという作業が無ければ時間の無駄です。一つの問題を間違えたら、その分野全般をくまなく復習すること。最初はものすごく時間がかかりますが、その積み重ねによって、成績は上がり、復習にかかる時間も短縮されていきます。最初の基礎工事が何より重要です。

○バランスよく学習しましょう。好きな教科ばかり勉強して、嫌いな教科に手をつけないと合格が遠のきます。苦手教科こそ担当の先生に相談しながら真っ先に克服してください。計画的に学習すること。

○体調に気を使いながら学習しましょう。張り切って休憩も取らずに勉強していると逆効果です。休憩を適宜取りながら、1年間の長いマラソンのゴールが切れるようにペース配分しましょう。